

## は し が き

大学や高等教育がますます身近になり、そこで何を学んで、どんな人間として社会に出ていくのか、いよいよ多くの人が興味を持つようになっていく。大学だからもちろんいろいろな専門があり、人それぞれにさまざまなことを学ぶのだが、同時に皆が共通して学ぶこと、学ばなければならないこともある。

私たちの社会が世界の多くで民主社会になってきているので、自分たちの社会をつくり支えていく基礎的な心構えや知識がそうである。私たちは、選挙で自分たちの代表を選び、議会や政府をつくっていくばかりでなく、企業や役所や協同組合やNPO、NGOなどに就職したり、時には自営で、いろいろな事業をおこなっている。

政治的に社会を運営しているばかりでなく、経済的に社会の実質を日々つくっているのである。私たちは民主社会の主権者であるので、自分たちの社会を、政治的に運営しているばかりでなく、経済的にも日々つくりだしているのだ。

大学で学び、大学の教員になり、大学生協を利用し、その役員などを務めながら、私は、この当たり前のことの深い意味を痛感させられた。主権者であるということは、政治的な意味ばかりでなく経済的な意味でも、すごいことなのだと思う。そしてそのことを、学生、院生、留学生の皆さんに、また大学の教職員の皆さんに、あらためて訴えたいと思った。

2016年から広い意味での学生全員が有権者になったが、日本の大学の多くには、戦後の学生たちがつくりあげてきた大学生協があり、そこでは学生たちが経済的にも主権者である。まだ生協のない大学の皆さんには、大学生協の連合会などに連絡を取り、ぜひ生協をつくってほしい。これからの大学は、主権者の民主協同社会になり、私たちの社会そのものの母体となっていかななくてはならないのだから。

詳しくはこの本をぜひ読んでほしい。忙しい人は、まず序と最終章Xを読んでほしい。そして、政治的にばかりでなく経済的にも主権者であることのすばらしさに気がいたら、その他の章をどこからでもいいから読んでほしい。この本は、『大学改革と大学生協』（2009年）および『学生支援と大学生協』（2015年、ともに丸善プラネット）の内容を深く展開したものである。できればそちらも読んでほしい。

日本ばかりでなく世界のどの国でも、21世紀の新時代をつくっていくためには、まず学生を初めとする若い人たちが元気を出さなければならない。教職員の皆さんも、日々忙しくて大変だとは思いますが、この本に書いてあるようなことを考えて若い人たちと語り合い、元気を燃え上がらせてほしい。生協のある日本の大学は、ある意味ではアジアのモデル・世界のモデルなのである。

この本を書く過程で、日本各地の大学の学長を初めとする教職員の皆さん、学生、院生、留学生の皆さん、および各地の大学生協の職員の皆さんばかりでなく、農協や日生協など

協同組合の皆さんにも、たいへんお世話になった。心から感謝するとともに、どんなことでもご意見をいただければ有り難い。

本の出版がますます困難となるなか、大学生協連と東信堂の下田勝司社長にはひとかたならずお世話になった。

この本のことがインターネットなどでも語られ、日本の大学と大学生協の発展のために少しでも貢献するよう、願っている。

2016年6月

著者

## 目 次

### 序 新時代の大学教育と協同行動

#### I 学習・研究・教育から協同行動へ

- 1 懐かしい思い出：ソ連・T大・大学生協
- 2 サッチャー・レーガン・中曽根からブッシュ・ブレア・小泉へ
- 3 地方と大学：「自治」を誇った2つの聖域
- 4 生協は生き残れるか？
- 5 初心に戻って協同行動を！

#### II これからの社会と大学および協同行動

- 1 人はなぜビジョンとアクションプランを必要とするか？
- 2 ビジョンとアクションプランのための状況分析
- 3 グローバル化のなかで格差社会化する日本
- 4 「自立」を迫られ、経営努力を強いられる大学
- 5 少子高齢化で内部構成を変える学生・院生・留学生・教職員
- 6 新しい生き方を模索する大学と協同行動の課題

#### III 大学と大学生協の21世紀ビジョンと背後仮説

- 1 ビジョンとアクションプランを持って生きる
- 2 グローバル化の時代
- 3 協同の意味の再考と再生
- 4 大学における協同行動の固有性と役割

#### IV 大学教育の再発見：新帝國的な身体形成と協同行動的な身体形成

- 1 教育のカウンセリング化？
- 2 食の面から身体形成を革新する
- 3 チームづくりとしての協同を手がかりに

#### V 教職員から見た大学教育と協同行動

- 1 グローバル化と大学教育および協同行動の課題
- 2 世界的民主化のなかでの大学教育と協同行動の意義

## VI 大学教育改革における教職員・学生と大学生協

- 1 初心にかえて協同から
- 2 アジアのモデル・世界のモデルに！
- 3 大学生協の情動的自立と学官産連携の方向
- 4 高度市民の育成と協同行動の意義
- 5 若き市民の事業としての大学生協
- 6 大学教育改革と協同行動の積極的意義

## VII グローバル化のなかの大学と協同行動

- 1 日本的新自由主義への対抗としての大学における協同
- 2 大転換の仕上げとしての世界的市場化と社会的経済および大学
- 3 労働・大学・地域のグローバル化と協同行動
- 4 ポストコロニアル・アジアと文化としての協同行動

## VIII 危機と変革の時代の大学と協同行動

- 1 世界的な危機と変革のなかの協同組合と大学生協
- 2 歴史を創る：人間・市民社会・大学教育と協同行動
- 3 協同組合の新たな意義と大学および協同行動
- 4 歴史観の再建をふまえて大学から協同組合憲章へ

## IX 萎縮社会から民主協同社会へ

- 1 萎縮社会の克服：理論的な主張を情動的なもので補強する！
- 2 ネット上に広がる大学教育と情動的協同の重要性
- 3 新しい歴史観・社会観と大学および協同行動：民主社会から協同社会へ
- 4 民主協同社会に向けての大学と大学生協の貢献

## X 大学教育の活性化と協同行動

- 1 若き主権者の事業としての大学生協
- 2 大学教育の活性化に協同行動を生かす！

## 参考文献

初出一覧

人名索引

事項索引